

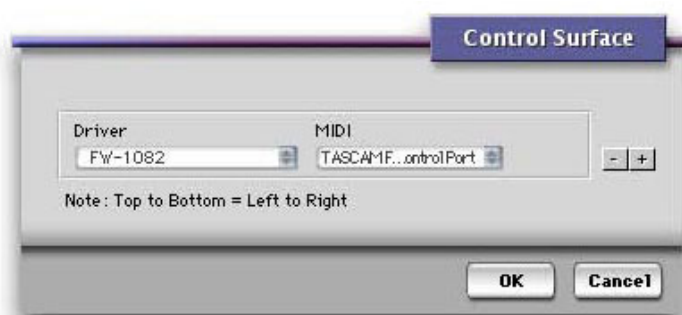
## Digital Performer

FW-1082 を Digital Performer と組み合わせて使うために、コントロール・サーフェス・プラグインが付属しています。このプラグインは OS X 上では DP 4.12 以降に、OS9 上では DP 3.11 に対応しています。

ご使用の OS、DP のバージョンに応じたプラグインを CD-ROM からインストールしてください。

FW-1082 コントロールパネルを開き、[Settings] タブの [Control Protocol] のドロップダウンリストから [Native Mode] を選択してください。

つぎに Digital Performer の [Setup] メニューから [Control Surface Setup] を開き、[FW-1082 Driver] を選択して [TASCAM FW-1082 Control Port-1] にアサインします。[OK] をクリックします。



### コントロールの詳細

FW-1082 のサーフェスコントロールは、おおむね予想どおりにそれに対応する Digital Performer のパラメータをコントロールします。たとえば、フェーダー、ミュート、ソロ、トランスポートコントロールは Digital Performer 上で同じパラメータをコントロールします。以下にその例外を説明します。

### トランスポートキーに追加されるもの

IN = RTZ (ゼロ位置に戻る)

OUT = 末尾にジャンプする

SET + IN : 現在の再生位置に IN ポイントを設定する

SET + OUT : 現在の再生位置に OUT ポイントを設定する

SHIFT + IN = パンチ

SHIFT + OUT = サイクル

SHIFT + SET : 現在選択されているものからパンチ In/Out ポイントを設定する。

<<LOCATE : 前のマーカーにロケートする

LOCATE>> : 次のマーカーにロケートする

SHIFT + <<LOCATE または LOCATE>> : 現在の再生位置にマーカーをつける

### データダイアル

Digital Performer では、データダイアルは SHTL LED が消灯しているときは単純にロケーターとして機能します。SHTL LED が点灯しているときはデータダイアルはシ

ャトルコントロールになります。同じ方向に回し続けると、シャトルスピードが速くなります。

## SEL キー

FW-1082 の SEL キーを押すと Digital Performer のチャンネルを選択できます。SHIFT キーを押しながら SEL キーを押すと複数チャンネルの選択または選択の解除ができます。

赤い REC キーを押しながら SEL キーを押すとそのトラックの REC ファンクションを切り換えられます。

## パンと EQ

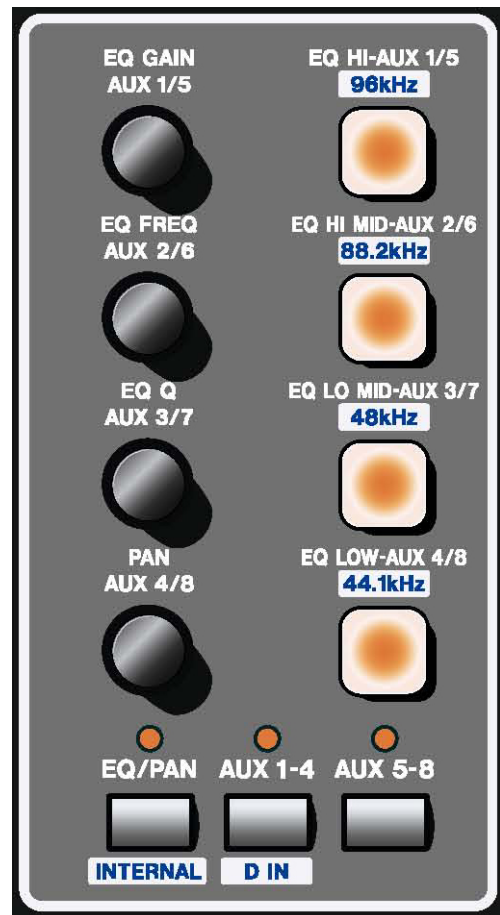
EQ/PAN LED が点灯しているときは：

- 右図の4つのエンコーダーのうち、一番下のつまみで、DP で選択されているチャンネルのパンをコントロールします。
- GAIN, FREQ, Q のつまみは、DP で選択されているチャンネルの、選択している EQ バンドのパラメータをコントロールします。DP の4バンド・パラメトリック EQ をサポートしています。
- SHIFT キーを押しながら EQ バンドキーを押すと、その EQ バンドをオン/オフできます。
- EQ/PAN キーを押しながら EQ バンドキーを押すと、そのバンドの EQ カーブを切り換えられます。

## AUX センド

AUX 1-4 が点灯しているときは：

- 4つのエンコーダーを使って、DP で選択されているチャンネルの、AUX 1~4 のセンドレベルを調整します。
- 4つのキーは DP で選択されているチャンネルの、AUX センド 1~4 のミュートを切り換えます。
- SHIFT キーを押しながら4つのキーのいずれかを押すと、DP で選択されているチャンネルの、AUX センドのプリ/ポストを切り換えられます。AUX 1-4 LED が点灯しているときに SHIFT キーを押し続けると、4つのセンドのプリ/ポストを確認することができます。点灯状態がポストを示します。
- AUX 5-8 キーは無効です。



## F.KEYS キーでウィンドウを切り換える

以下のキー操作でウィンドウを切り換えることができます。そのウィンドウを開いていない場合は、これらのキーを押すことにより、そのウィンドウが開かれます。

F1 = Track ウィンドウ  
F2 = Mixing ウィンドウ  
F3 = 前面のウィンドウを後ろに送る  
F4 = 前面のウィンドウを閉じる  
SHIFT + F1 = Effects ウィンドウ  
SHIFT + F2 = Control ウィンドウ  
SHIFT + F3 = Audio Edit ウィンドウ  
SHIFT + F4 = Audio Monitor ウィンドウ

## 矢印（カーソル）キー

上下の矢印キーを押すと、選択トラックが1つずつ繰り上がり（下がり）ます。これは Track ウィンドウを見ながらトラックをスクロールするのに便利です。  
左右の矢印キーはキーボードの上下カーソルと同じ働きをします。これは Mixing ウィンドウを見ながらトラックをスクロールするのに便利です。

チャンネルをスクロールして行くことによって現在のバンクを通り越すと、それに  
応じて FW-1082 のバンクも自動的に切り換わります。

## BANK キー

BANK>キーまたは<BANK キーを押すと、FW-1082 のコントロール対象となる8チャンネルバンクがそれぞれの方向に切り換わります。

SHIFT キーを押しながら BANK>キーまたは<BANK キーを押すと、FW-1082 のコントロール対象となる8チャンネルバンクが1チャンネルずつそれぞれの方向に切り換わります。

## マスターフェーダーのアサイン

SET キーを押しながら BANK>キーまたは<BANK キーを押すことにより、マスターフェーダーを前後のバーチャルマスターにアサインすることができます。マスターフェーダーがどのバーチャルマスターにアサインされているかは BANK LED の点灯によりわかります。